

大和屋 設計・施工マニュアル【木製玄関ドア HARERUYA】

設計・施工の前に必ずお読みください

設計のご注意

- 下記の場所への設置は、極端な反り・狂いなど不具合の原因となりますのでおやめください。
 - ・直射日光が当たる場所
 - ・直接雨がかりがある場所
- 扉表面、蝶番側に【7 mm】、戸先側に【1 mm】のクリアランスが必要です。
- 枠においても、蝶番側に【羽目板の厚み+3 mm】、戸先側に【2 mm】のクリアランスが必要です。
- その他お気づきの点やご不明点等ございましたら必ず設計前にご相談ください。

施工の前に

- 直射日光や雨の当たる場所、湿度が高い場所での保管は避けてください。
- 立て掛けての保管は反りや曲がりの原因となります。必ず平置きにして保管してください。
- 本商品は完成品です。運搬、荷卸し、施工の際にはキズや打痕、汚れ等には十分注意してください。
- 取扱いの際に手が汚れていると手跡がついて消えにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- 扉・枠ともに重量がありますので、取り扱い・ケガに十分注意して下さい。扉の吊り込み・取り外しは必ず2名以上でおこなってください。
- ドアは乾燥度が高いため、枠を取り付ける構造材は出来る限り乾燥材、または集成材を使用することを推奨します。
- 建築完了までダンボール等で本体および枠への養生を推奨します。養生の際には本体および枠に直接粘着テープを貼らないでください。（粘着剤が残る可能性があります。）
- 品質には万全を期しておりますが、お気づきの点や不良品がございましたら、施工前に必ずご相談ください。施工後の交換にはご対応できません。

用意するもの

- クサビ

施工の手順

- ハンドル・シリンダーは、本体に取り付けています。

●躯体への取付施工の手順

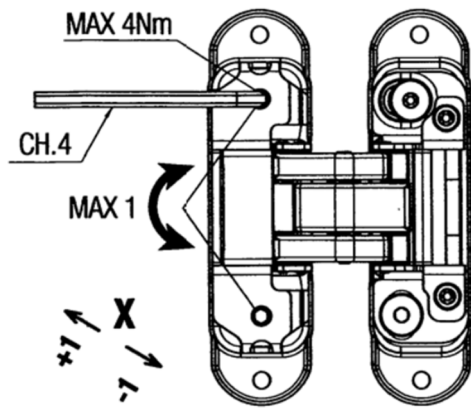
- ① ドア本体を枠からはずし、ステーブルをすべてはずしてください。
- ② 枠を取り付ける下地が水平であることを確認してください。
- ③ 枠を躯体に合わせ、クサビを挿入します。
 - ・縦枠クサビ：ビス穴を避けた位置に配置
 - ・下枠クサビ：縦枠の真下に配置

※クサビは設置後に撤去するので、抜き出しやすいクサビをご使用ください。
- ④ 下げ振りおよび水平器を使って垂直・水平および傾きを確認してください。
- ⑤ 蝶番側の枠を固定します。※必ず吊り元側から固定してください。
 - ・垂直と傾きを確認します。
 - ・下枠および上枠と縦枠が直角になっていることを確認してください。
 - ・上部をビス穴からビスで固定します。
 - ・再度垂直・傾きを確認してから下部をビスで固定します。
- ⑥ 戸先側の縦枠を⑤と同じ要領で固定します。
- ⑦ バカ棒で枠の対角を含めて高さ・幅の枠内の寸法が均等か確認してください。

不均等の場合は次ページ「蝶番調整」の手順で枠の調整をおこなってください。
- ⑧ 寸法の確認後、残りのビスで固定します。
- ⑨ クサビを全て撤去します。
- ⑩ ドアを吊り込みます。扉は重量物のため、必ず2名以上でおこなってください。
- ⑪ 確認をおこないます。
 - ・ドアを閉めてラッチおよびカギの掛かりを確認してください。
 - ・ドアを閉めた状態で枠とドアのチリが均等か確認してください。
 - ・ドアを何度か開閉し、ドアと枠の擦れがないか確認してください。
- ⑫ ドア枠と躯体の間にグラスウールやウレタンフォームなどの断熱材を充填し、コーキング・防水・気密テープを用いて防水・断熱・気密処理をおこなってください。
- ⑬ 隠し蝶番のキャップを取り付けてください。

蝶番調整

HARERUYA では三次元調整が可能な蝶番を採用しています。



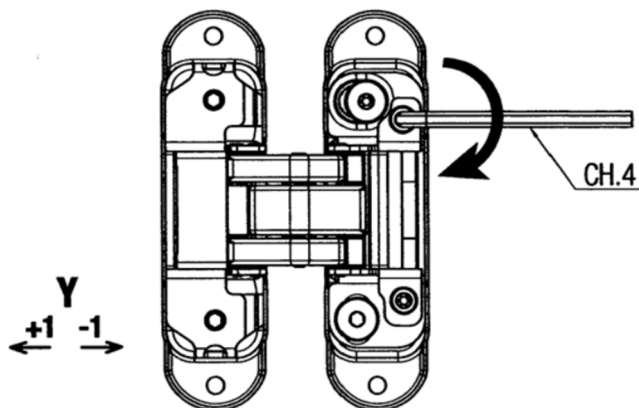
【斜め方向に調整する場合】

左の図の部分を回して、

+ 1 mm

— 1 mm

調整が可能です



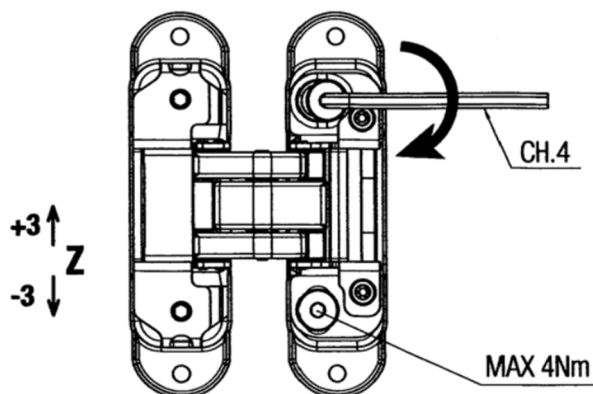
【横方向に調整する場合】

左の図の部分を回して、

+ 1 mm

— 1 mm

調整が可能です



【縦方向に調整する場合】

左の図の部分を回して、

+ 3 mm

— 3 mm

調整が可能です

施工の後に

- ドアストッパーを設置してください。

(弊社指定のドアクローザーにはストッパー機能はございません。必ずドアストッパーを設置してください。)

ドアストッパーがない場合は、保証対象外となります。

- ドアクローザーを設置する場合はドアクローザーの施工要領に従って取り付けをしてください。

(推奨品：RYOBI S-22PC1)

- 開閉不具合などの初期不良の可能性がある場合は、必ず外壁・内壁の施工前にご相談ください。外壁・内壁を仕上げてしまうと調整および交換ができないため、ご対応できませんのでご注意ください。
- 施工終了後、乾いた雑巾などで表面の木屑や埃をきれいに拭き取り、養生をしてください。
- 扉全体を養生シートで覆うようにしてください。一部が露出すると、日焼けして色むらになってしまいます。
- 養生テープは必ず小口面へ貼ってください。扉の表面および枠に直接貼ると表面にテープののりが残ったり、木材表面の繊維や塗装が剥がれるおそれがあります。
- 養生中もテープの剥がれが無いかを都度確認してください。隙間から小石やゴミ等が入ると、表面のキズやへこみの原因となります。
- 蝶番の調整方法および掃除・メンテナンス方法についてはユーザーマニュアルをご覧ください。

(参考) シリンダー・シリンダーケース取付資料



MIWA

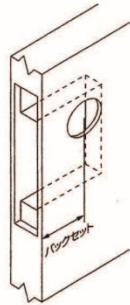
DAシリーズ取付説明書

非常開装置付の場合、非常開シリンダー部の切込み、取付けが異なります。
非常開装置付に添付している取付説明書に従ってください。

取脱番号 071-5

1. 取付穴をあけてください。

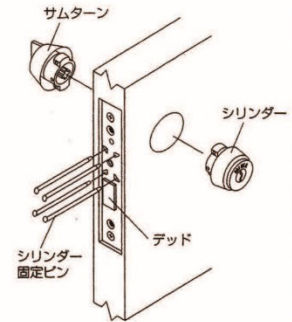
錠本体の彫込み、及び下図切込型紙に従って取付穴をあけてください。



3. シリンダー、サムターンを取り付けてください。

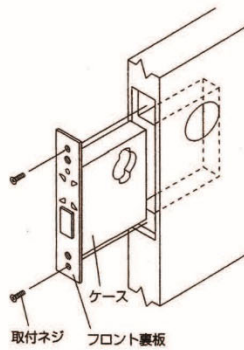
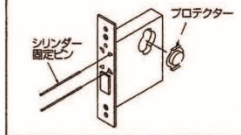
シリンダー、サムターンともMIWAのマークを上にし、ケースに挿入し、次にシリンダー固定ピンを面一になるまで差し込んでください。

注) サムターンツマミは
デッドが引込んだ
状態で垂直になる
ように取り付けて
ください。



2. ケースを取り付けてください。

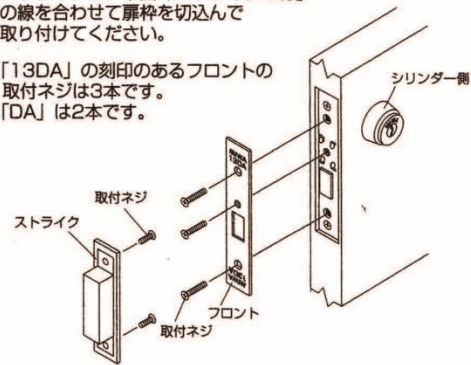
2型：ケースのサムターン側に
取り付けてください。
3型：ケースのシリンダー側に
取り付けてください。



4. フロント、ストライクを取り付けてください。

ストライクは、下図「ストライクの線」
の線を合わせて扉枠を切込んで
取り付けてください。

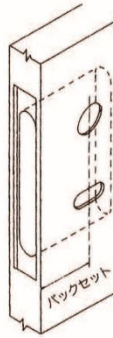
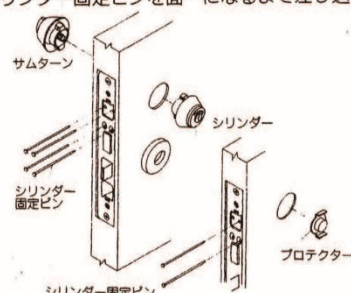
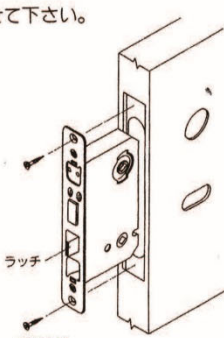
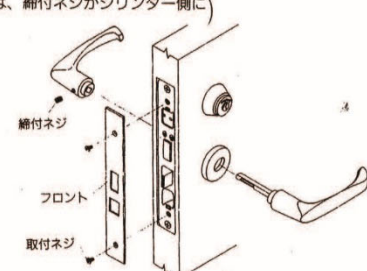
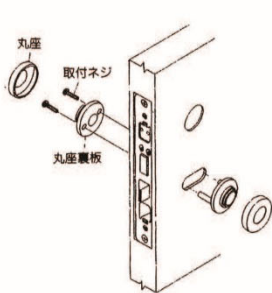
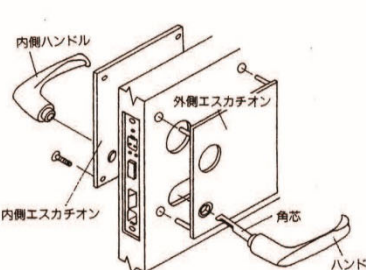
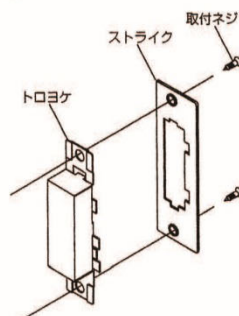
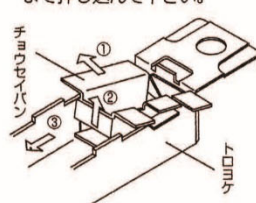
「13DA」の刻印のあるフロントの
取付ネジは3本です。
「DA」は2本です。





WLA 取付説明書

取付番号 838H0820

1. 取付穴をあける。 裏面の切込型紙に従って錠本体の彫込み、及び取付穴をあけて下さい。  バックセット	4. シリンダー、サムターンを取り付ける。 シリンダー、サムターンともMIWAのマークを上にし、ケースに挿入し、次にシリンダー固定ピンを面一になるまで差し込んでください。 注： サムターンツマミはデットが引込んだ状態で垂直になるように取り付けて下さい。 注： 3型の場合は開き勝手に合わせて、プロテクターをケースに取り付けてください。  サムターン シリンダー シリンダー固定ピン プロテクター
2. ケースを取り付けてください。 扉勝手に合わせラッチを反転させて下さい。  ラッチ 取付ネジ	5. ハンドルを取り付ける。 シリンダー側より角芯付ハンドルを差し込み、サムターン側よりもう一方のハンドルを締付ネジにて取り付けます。 (ハンドル形状によっては、締付ネジがシリンダー側にくるものもあります。)  締付ネジ フロント 取付ネジ
3. 丸座又はエスカチオン(化粧座)を取り付ける。 (丸座の場合) 丸座裏板を取り付け、次に丸座の突起を丸座裏板の溝に合わせて丸座をはめ込んでください。 注： ステンレスハンドルの場合丸座はネジ込み式です。  丸座 取付ネジ 丸座裏板 (大型エスカチオン時)エスカチオンを取り付ける。 外側エスカチオンを扉にさし込み、角芯付ハンドル及び、内側エスカチオンを案内にして内側エスカチオンを取付ネジにて取り付けてください。  内側ハンドル 外側エスカチオン 内側エスカチオン 角芯 ハンドル	6. ストライク・トロヨケを取り付けてください。 ストライクは裏面の切込型紙の「ストライクの線」の線を合わせて扉枠を切り込んで取り付けて下さい。 【ストライクユニット勝手変更の仕方】 ③ストライクユニットは、チョウセイバンが必ず下側になるように取り付けて下さい。トロヨケ、チョウセイバンの矢印表示が必ず扉の「開き側」になるように取り付けて下さい。 図の様にチョウセイバンを指で矢印①の方向(開き側と反対方向)に押し付けながら片側(矢印②)を少し持ち上げて下さい。チョウセイバンを矢印①の方向に押し付けたままトロヨケの反対側(矢印③)にスライドさせ、持ち上げた方を下に傾けながら底まで押し込んで下さい。  ストライク トロヨケ 取付ネジ 【チョウセイバン調整の仕方】 ストライクの中心にある⊕ネジを回すことにより、チョウセイバンを8段階(約0.5mm間隔)に移動できます。ラッチとのガタが大きい場合は調整して下さい。  チョウセイバン ① ② トロヨケ

※切り込み型紙は裏面をご覧ください。

美和ロック株式会社
〒105-8510 東京都港区新大塚1番12号

免責事項

下記が原因として発生した不具合は、免責とさせていただきます。

●天然木の特徴によるもの

- ・色違い
- ・木目・節の違い
- ・ヤニ
- ・経年による変色
- ・伸縮
- ・軽微な反り・割れ
- ・キクイムシなどの虫の発生

●施工取付後に発見された故障及び損傷

●性能に影響しない軽微な反り・狂い

●雨染みや塗装の色褪せ等の経年変化またはご使用に伴う磨耗や汚れなどの外観上の現象

●ハンドルや蝶番など消耗品のメンテナンス・交換

●衝撃によって生じるへこみ・キズ・破損・汚れ

●下地の不陸など本製品以外が原因によるもの

●設計・施工マニュアルに基づかない設計・施工で発生した不具合

●ユーザーマニュアルに基づかない掃除・メンテナンスで発生した不具合

●不適切な保管状況が原因で発生した反り・キズ

●不適切な養生により発生したキズ・色むらなどの不具合

●その他天災等によるもの

※施工後の返品やクレームにはご対応できません。

万が一商品に問題があった場合は、必ず施工前にご連絡ください。

大和屋 株式会社

住所：埼玉県熊谷市問屋町 4-1-7

電話：048-526-1001 FAX：048-526-1011 メール：call@yamatoya-kk.co.jp

ホームページ：http://www.yamatoya-kk.co.jp/kenzai/

